

令和8年産 コメ通信

第10号（令和8年9月18日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話：0186-62-1835）

稲の黄化程度を確認し、適期の刈取を！

1 気象経過と生育状況

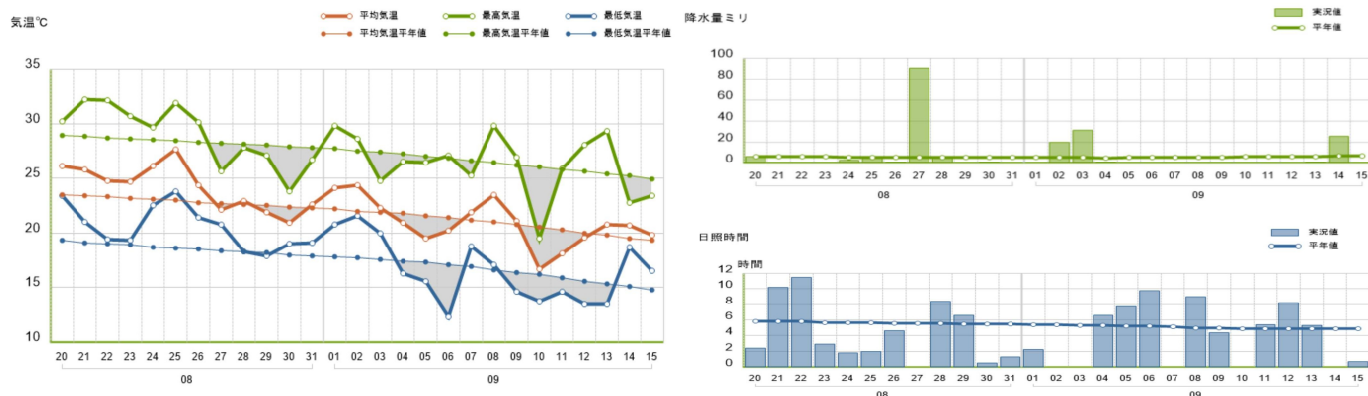


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

【気象経過】

- 8月5半旬の気温は、平年よりも高く推移しましたが、8月6半旬以降は平年並から低い日が多くなりました。降水量は8月27日、9月2～3日、9月14日に降雨がありましたが、そのほかは平年より少なくなりました。日照時間は平年並～少なくて推移しました。
- 仙台管区气象台発表の1か月予報（9月17日発表）によると、向こう1か月の東北地方日本海側の天気は、気温は高く、降水量・日照時間はほぼ平年並と予想されています。

【生育状況】

- 9月15日現在の生育（あきたこまち：9地点平均）は、稈長が長く、穂長がやや長く、穂数が多くなっています。多くの地点で、平年より最高分げつ期の茎数が多かったものの、無効分げつが多く、有効茎歩合が低くなりました。
- 定点調査ほにおける倒伏程度は1.0（平年：0.6）となっています。管内全体でも7月下旬からの曇雨天により、稈長が長く、倒伏程度が大きいほ場が散見されます。今後も、降雨による倒伏の拡大が懸念されます。

表1 定点調査結果（9月15日）

	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	有効茎歩合 (%)
本年	85.7	18.2	481	78.3
平年	82.6	17.9	452	82.4
前年	84.9	18.1	445	86.6
平年比・差	104%	102%	107%	-4.1
前年比・差	101%	101%	108%	-8.3

※平年は過去10か年の平均値を示す。

2 刈取適期の判断

○刈り取り適期は個々のほ場条件で異なります。すでに刈り取り作業を実施しているほ場もみられます。これから刈り取り作業を実施するほ場では、表2の出穂後の日数及び表3の出穂後の積算気温による刈取適期予測を参考にして、最終的には籾の黄化程度を観察し、黄化程度が90%に達した時期に刈取してください。積算気温による刈取予想（表3）によると、出穂期が7月30日であれば9月8日には950℃を超え、「あきたこまち」は適期を迎えています。

予 測 判 断 決 定	①出穂後の日数による予測 （登熟期間の日照時間が平年並～多い年） 早生品種（あきたこまち級）で出穂後45日前後 中生品種（めんこいな 級）で出穂後50日前後	表2 出穂後の日数 <table border="1"> <tr> <th>出穂日</th> <th>45日後</th> <th>50日後</th> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>9月13日</td> <td>9月18日</td> </tr> <tr> <td>8月5日</td> <td>9月19日</td> <td>9月24日</td> </tr> <tr> <td>8月10日</td> <td>9月24日</td> <td>9月29日</td> </tr> </table>	出穂日	45日後	50日後	7月30日	9月13日	9月18日	8月5日	9月19日	9月24日	8月10日	9月24日	9月29日												
	出穂日	45日後	50日後																							
	7月30日	9月13日	9月18日																							
8月5日	9月19日	9月24日																								
8月10日	9月24日	9月29日																								
②出穂後の積算気温による予測 出穂後の日平均気温の積算値で 早生品種は 950～1,050℃ 中生品種は 1,050～1,150℃	表3 出穂後の積算気温 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>950℃</th> <th>（平年）</th> <th>1050℃</th> <th>（平年）</th> </tr> <tr> <td>7月25日</td> <td>9月3日</td> <td>（9月4日）</td> <td>9月7日</td> <td>（9月8日）</td> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>9月8日</td> <td>（9月9日）</td> <td>9月13日</td> <td>（9月14日）</td> </tr> <tr> <td>8月5日</td> <td>9月15日</td> <td>（9月17日）</td> <td>9月21日</td> <td>（9月22日）</td> </tr> <tr> <td>8月10日</td> <td>9月23日</td> <td>（9月24日）</td> <td>9月28日</td> <td>（9月30日）</td> </tr> </table> ※9月15日以降、平年値で計算		950℃	（平年）	1050℃	（平年）	7月25日	9月3日	（9月4日）	9月7日	（9月8日）	7月30日	9月8日	（9月9日）	9月13日	（9月14日）	8月5日	9月15日	（9月17日）	9月21日	（9月22日）	8月10日	9月23日	（9月24日）	9月28日	（9月30日）
	950℃	（平年）	1050℃	（平年）																						
7月25日	9月3日	（9月4日）	9月7日	（9月8日）																						
7月30日	9月8日	（9月9日）	9月13日	（9月14日）																						
8月5日	9月15日	（9月17日）	9月21日	（9月22日）																						
8月10日	9月23日	（9月24日）	9月28日	（9月30日）																						
③籾の黄化程度による判断 葉や穂首が緑色であっても、 <u>籾の黄化程度が90%の頃</u>																										

刈り取り時期を決定！

3 刈り取り作業

収穫時の籾水分は25%以下が望ましく、収穫時刻は稲体が乾燥している午前10時頃から午後5時頃とします。また泥の汚損粒が発生しないよう注意して刈り取りましょう。

4 お知らせ

＜秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日＞

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクタに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。

＜稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日＞

周辺に影響が出やすいこの期間は、全面的に稲わら焼き（籾殻含む）が禁止されています。燃焼せずに、土壌中にすき込む等、有効活用に努めましょう。

カドミウム汚染米発生を防止しましょう！！

- 「あきたこまちR」以外の品種を作付しているほ場では、出穂前後3週間の湛水管理を**必ず実施**してください。
- J A・主食集荷商業協同組合加入業者**以外**の集荷業者や消費者へ直接販売する場合は、出荷前にロット調査によるカドミウム分析を各自で実施してください。



詳しくは↑

問い合わせはJ Aまたは農業振興普及課まで～次回発行は12月中旬頃～